シリーズ　学術出版を学ぶ（6）　2014/7/24　アンケート回収数１７

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

１．本日のセミナーについて

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
１、知りたいことがわかった	16	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1
２、知っている内容だった	0																	
３、知りたいことと違っていた	0																	
４、難しくてわからなかった	0																	

感想
・大変刺激的な内容でした。学術出版をどうやって商業的に成り立たせるのか、
モデルを模索中なので大変有意義でした。（編集、グローバルビジネスリサーチセンター）
・もっと色々とディスカッションをお聞きしたかった。残念。
（スエッツインフォメーションサービス、コマーシャル部門）
・OAの最近の事情が出版、図書館の立場から分かった。（日本生物物理学会、研究者）
・とても勉強になりました。少し背景を知っていないとわからない部分もありましたので、
私には少し難しかったですがとても良かった。（JST、情報企画部）
・大変興味深い内容でした。ありがとうございました。（編集）
・事務局にいるだけではわからない、生々しい実態の一端が分かってよかった。
パフォーマンスを考えるきっかけになった。（日本油化学会、編集事務局）
・自由に質問、意見を出せる雰囲気がとても良くて楽しい時間を過ごせました。
（University Press）
・ジャーナルについて知識が乏しく、勉強の意味もあり参加させていただきました。現在は
電子ブックを中心に活動をしておりますが、ジャーナルから学ぶべきことが多々ありました。
・”知りたい”と思っていた以上のサプライズ（良い意味で）がありました。
（科学技術振興機構、企画部門）
・お二人のお話が大変興味深く、もっとお聞きしたかったです。Big　Dealのとらえ方が立場に
よってこんなに違うということに驚きました。
谷藤さんの新しいご提案の行く末を知りたいです。（日本疫学会、学会事務）
・急激な進展を知ることができてよかった。多様なモデルのニーズをどう
学会側/出版社/図書館がうまくやっていくかなのでしょう。（筑波大学、研究職）
・現場の情報を聞くことができました。実りが大きかったです。（化学工学会、学会出版）
・今回も大変楽しく過ごさせていただきました。（研究所）

２．貴学会のジャーナルをさらに向上させるために、必要、あるいは有用な「活動」「システム」「情報」にはどのようなものがあると思われますか。
・投稿数を増やすことが最大の課題（研究者）
・知らない研究者への広報（編集事務局）
・販売のマーケットとターゲットとなる著者のリスト（学会出版）
・学会の立場ではありませんが、編集委員長を集めるワークショップが有効かと思います。
（研究所）

３、今回のセミナー開催をどこでご覧になられましたか。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
１、JSTからのお知らせ	9	1		1		1	1	1	1			1	1	1				
２、友人の紹介	5		1		1					1						1		1
３、JST以外からのお知らせ	0																	
４、その他	3								1		1				1			

具体的に…
UniBioPress
上司からの案内
UniBioPressのサイト